

Agilent N1020A TDRプローブ

製品概要

Agilent N1020A TDRプローブは、回路基板でタイム・ドメイン・リフレクトメトリ測定を実行する際に便利なアクセサリです。SMAコネクタによる接続など便利な接続方法を使用できない場合に、プロービングは、実行できる唯一のソリューションです。多くのテスト・エンジニアは非常に独創的な方法で、個々のアプリケーションごとに適切なテスト・フィクスチャをデザインおよび構築しますが、Agilent TDRプローブを使用すると、次のような利点をすぐにご利用いただけます。

- 安定した正確な測定
- 信頼性の高い、再現性のあるポジショニング
- 広い帯域幅特性
- X-Y-Zポジショナに比べて簡単なセットアップ
- コンポーネントへの損傷が少ない
- 直観的なプロービング方法

Agilent TDRプローブは、Agilent 86100A Infiniium DCA (Agilent 54750Aまたは83480A)と共に使用し、滑らかな動作でX、Y、Zのポジショニングを行うことができます。ユニークな3Dジョイスティックには、多関節アームによる3:1動作減速機能が搭載されており、カード・ケージからマイクロストリップラインまで、簡単にプローブをポジショニングすることができます。TDRプローブを使用すると、狭いスポットをテストする場合にも、手を放して作業を行うことができます。

Agilent TDRプローブのチップには、新しい、可変ピッチのばね式グラウンド・ピンが組み込まれています。ばねが使われているため、グラウンドと信号接点の高さの違いを補正することができます。また標準回路基板のプロービング・パッドの製造許容範囲にも容易に適合させることができます。

プローブ・チップの先端にはうず巻状にピン穴が配置されているため、プローブ・ピンとグラウンド・ピンとの間隔を1.524mm～5.08mmの範囲であれば0.254mm単位で変えることができます。グラウンド・ピンの除去や移動は、付属のエクストラクション・ツールで行えます。グラウンド・ピンの設定が非常に汎用性に富んでいるため、別のアプリケーションにもすばやくセットアップすることができます。プローブを取り換えたりフィクスチャをハンダ付けするなどのめんどろな作業の必要はありません。



Agilent Technologies
Innovating the HP Way

補足特性

質量：.....1.3kg
ジョイスティック
の動作範囲：..... $17 \times 17 \times 13\text{mm}$
アームの到達範囲：.....100 ~ 220mm
アームの掃引角度：.....+90 度
プローブのピッチ：.....1.5 ~ 5.0mm
帯域幅：.....DC ~ 6GHz
挿入ロス：.....<1.5dB
リターン・ロス：.....>16dB
コネクタ：.....SMA3.5mm



ホームページ
www.agilent.com/find/si

アジレント・テクノロジー株式会社
本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

計測
お客様窓口

受付時間 9:00~17:00
(土・日・祭日を除く)
※FAXは24時間受付

TEL ☎0120-421-345
(0426-56-7832)

FAX ☎0120-421-678
(0426-56-7840)

E-mail: mac_support@agilent.com

電子計測ホームページ
<http://www.agilent.co.jp/find/tm>

●記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

5968-4811J
010105301-NMC